

<p>科目名：老年看護学実習Ⅱ</p>	<p>必</p>	<p>1 単位</p>
<p>(Gerontological Nursing Practice Ⅱ) 履修年次/時期：3年次 通年 授業形態：実習 担当教員：中村仁志（実務経験有）、石川智子（実務経験有）、石井一義（実務経験有）</p>		
<p>学修目的</p>	<p>介護老人保健施設及び老人福祉施設の利用者との関わりを通して、老年期の特徴を知り、コミュニケーションの方法、看護の役割・援助方法および多職種との連携・協働について学ぶ。 DP2(1)(2), 3(1)(3)および CP1, 2, 3, 5, 6に関連する。 科目 KNp-303</p>	
<p>到達目標</p>	<p>① 介護老人保健施設及び老人福祉施設について理解できる。 ② 加齢に伴う身体的・精神的・社会的側面の変化について理解できる。 ③ 認知機能が低下している高齢者の特徴を理解でき、高齢者とのコミュニケーションのとり方がわかる。 ④ 看護の役割および多職種との連携・協働の意義について理解することができる。 ⑤ 看護を学ぶ者として、相応しい態度をとることができる。</p>	
<p>授業概要</p>	<p>認知機能に障害をもつ対象者との関わりを通して、その特徴を知り、コミュニケーションの特徴、看護方法、看護の役割および多職種との連携・協働の実際について理解する。</p>	
<p>授業計画</p>	<p>(実習施設) 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 介護老人保健施設コスモス、 社会福祉法人聖隷福祉事業団 油壺エデンの園 株式会社ツクイ ツクイ・サンシャイン三浦 (実習期間) 3年次 4月下旬～7月上旬 ①施設実習：4日間 7時間、6.5時間*3日=1590分=35時間 ②学内実習：2コマ 4時間 ③全体オリエンテーション 2時間 ④直前オリエンテーション 4時間</p>	
<p>評価方法</p>	<p>老年看護学実習Ⅱの実習評価表の項目を、評価基準に基づいて点数化し、その合計点を最終評価とする。 評価に対するフィードバックは必要時、面接にて行う。</p>	
<p>教科書</p>	<p>系統看護学講座 老年看護学. 医学書院. 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論. 医学書院 看護過程実践ガイド 棚橋泰之著</p>	
<p>参考書</p>	<p>適宜紹介します。</p>	
<p>アドバイザー 連絡先</p>	<p>中村仁志 授業終了後～18:00 第3号館3階研究室 h.nakamura@kdu.ac.jp 石川智子 授業終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 t.ishikawa@kdu.ac.jp 石井一義 授業終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 k.ishii@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。</p>	